

## 地方創生推進交付金事業の実施状況について（平成 29 年度）

○地方創生推進交付金は、平成 28 年 4 月に創設された地域再生法に基づく法定交付金で、補助率は 1/2 となっています。（国の平成 29 年度予算額 1,000 億円）

○平成 29 年度は、8 事業を国に交付申請の上、実施しました。（総事業費 208,320,035 円。うち交付金充当額 109,723,564 円）

○なお、事業実施による効果については、それぞれ設定している KPI を踏まえ、8 事業のうち 5 事業で「地方創生に非常に効果的であった」または「地方創生に相当程度効果があった」と判定しているところです。

## 地域連携による健康・医療ものづくり推進事業

東葛テクノプラザ内に設置した医療機器開発・交流拠点を中心に、今後市場拡大が見込まれる健康・医療分野への県内中小企業の新規参入の促進を図った。

【事業費】 57,351,083 円（うち交付金 28,675,541 円）

【KPI】 医療機器等の共同開発件数：実績 13 件（目標 10 件）

【事業効果の判定】 地方創生に非常に効果的であった

## 【国による事業効果の判定基準】

- ①地方創生に非常に効果的であった（例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合）  
 ②地方創生に相当程度効果があった（例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合）  
 ③地方創生に効果があった（例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合）  
 ④地方創生に対して効果がなかった（例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとはいえないような場合）

## 新しい「人の流れ」から「しごとの場」まで地域一体で創造する千葉創生事業

## (1) 移住・定住体験モニターツアー事業

【事業費】 5,194,908 円  
 （うち交付金 2,597,454 円）



地域の暮らしを実感してもらう  
移住・定住体験モニターツアーの様子

## (2) 地域しごと支援センターちば事業

【事業費】 22,500,000 円  
 （うち交付金 11,250,000 円）

## (3) ちば新農業人サポート事業

【事業費】 9,814,964 円（うち交付金 4,907,482 円）

## (4) 地域で育てる新農業人研修事業

【事業費】 1,865,000 円（うち交付金 932,500 円）

## (5) 空き公共施設等を活用した企業進出支援事業

【事業費】 17,928,000 円（うち交付金 8,964,000 円）

## (6) ちば起業家応援事業

【事業費】 13,689,324 円（うち交付金 6,844,662 円）

【KPI①】 移住希望者向けイベント等における県内移住の案内・相談人数：実績 321 人（目標 300 人）

【KPI②】 地域しごと支援事業の利用者数：実績 387 人（目標 200 人）

【KPI③】 新規就農者数：実績 410 人（目標 450 人）

【KPI④】 空き公共施設等への進出企業数：実績 7 社（目標 6 社）

【KPI⑤】 起業家応援イベントの参加者数：実績 2,500 人（目標 2,000 人）

【事業効果の判定】 地方創生に相当程度効果があった

## “一人ひとりの働きたい”をかなえる「働き方改革」推進事業

セミナー等を通じて「働き方改革」に取り組む意識を持った企業に対し、「働き方改革」アドバイザーを養成・派遣した。

【事業費】 16,382,300 円（うち交付金 8,191,150 円）

【KPI①】 「働き方改革」アドバイザー認定数：実績 61 人（目標 25 人）

【KPI②】 「働き方改革」アドバイザーを活用して働き方改革に取り組んだ企業数：実績 25 社（目標 20 社）

【事業効果の判定】 地方創生に非常に効果的であった

## プロフェッショナル人材戦略拠点事業

潜在成長力のある中小企業の経営者に、「攻めの経営」への転身を促し、その成長戦略実現のため必要となるプロフェッショナル人材の採用を支援した。

【事業費】 43,458,967 円（うち交付金 27,293,032 円）

※フラッグシップモデル事業交付金を含む（国 10/10 補助）

【KPI①】 中小企業への相談件数：実績 291 件（目標 200 件）

【KPI②】 プロフェッショナル人材の県内中小企業における正規雇用件数：実績 31 件（目標 15 件）

【KPI③】 大企業連携による人材ニーズの掘り起こし（相談件数）：実績 37 件（目標 30 件）

【KPI④】 大企業連携による人材ニーズの掘り起こし（成約件数）：実績 3 件（目標 3 件）

【事業効果の判定】 地方創生に非常に効果的であった

## 落花生新品種を軸とした産地活性化事業

県が開発した落花生新品種「千葉 P114 号」のデビューを契機として、県産落花生の PR や、落花生栽培省力化機械の種子栽培への導入実証等を行った。

【事業費】 6,071,071 円

（うち交付金 3,035,535 円）

【KPI】 試験販売での売上げ増加額

：実績 0 千円（目標 1,500 千円）

※試験販売ではなく、消費者の意見を把握するため無償での配布に変更

【事業効果の判定】 地方創生に効果があった



千葉 P114 号は英の外観品質がきれい

## ちば・いちご産地活性化事業

県が開発したいちご新品種「チーバベリー」の本格販売に向け、イベントなど PR 活動に取り組み、県産いちごの魅力を発信するとともに、外国人観光客の受入体制やホテル・飲食店との連携を強化することで、いちご生産者の所得向上・県内観光客の増加・地域の活性化を図った。

【事業費】 7,739,250 円

（うち交付金 3,869,625 円）

【KPI】 観光いちご狩り来園者数

：4,000 人増加

（目標 6,500 人増加）

【事業効果の判定】 地方創生に効果があった



いちご新品種「チーバベリー」の1周年を記念した  
キック・オフ・パーティーの開催

## 地方創生総合プロデュース事業（果樹（びわ・かんきつ）園を活用した地域活性化事業）

急斜面で栽培する「びわ・かんきつ」を、労力削減・作期拡大等を目的として、平場においてパイプハウスで栽培するモデル園を設置し、観光に適した栽培を実証するとともに、観光客を増やすための体験メニューの企画を行った。

【事業費】 1,661,507 円

（うち交付金 830,753 円）

【KPI】 新技術・新品目導入により施設栽培に取り組む果樹生産者の

増加人数：実績 0 人（目標 2 人）

【事業効果の判定】 地方創生に効果があった



びわの低樹高根域制限栽培試験栽培

## 「房総ジビエ」の魅力発信プロジェクト

獣肉解体作業従事者の不足を解消するため作業員育成研修を行うとともに、ジビエ料理の拡大を図るため、県内飲食店における新たな取扱店舗の掘り起こしを行った。

【事業費】 4,663,661 円（うち交付金 2,331,830 円）

【KPI①】 県内処理加工施設の販売増加額  
：実績 4,360 千円（目標 400 千円）

【KPI②】 イノシシ肉処理頭数の増加数  
：実績 109 頭（目標 10 頭）

【KPI③】 房総ジビエフェアに参加したことのある飲食店の増加数：実績 8 件（目標 8 件）

【事業効果の判定】 地方創生に非常に効果的であった



房総ジビエフェアの開催